

ダニエル書 - 第三十号

恐怖の時

Jeff Pippenger

2023-12-25

ベルシャザルが謎めいた文字を恐れたことは、彼の死や聖書の予言における第六の王国の終焉だけでなく、地の王たちに恐れが取り憑く予言史上の時点も指し示している。彼らの恐れはイスラムの「東風」によって生じる。彼らの恐れは産みの苦しみをする女のようにであり、それは痛みが段階的に強まり、間隔がますます短くなって襲ってくることを示している。恐れはベルシャザルの酒宴の「時」に始まるが、その初めは2001年9月11日に到来した。その時以後、十四万四千人の封印の時期にそれらを押さえている四人の御使いの手から、風がすり抜け始める。エゼキエルが示すツロへの哀歌は、「海のただ中で滅ぼされた者のようなツロに、どの都が比べられようか」という預言的な問いを投げかけることで、ツロを描き出している。

タルシシュの船々は、あなたの市場であなたを歌い讃えた。あなたは海のただ中で満ちあふれ、きわめて栄光に輝いた。あなたの漕ぎ手たちはあなたを大いなる水の上へと運び出したが、東風が海のただ中であなたを打ち砕いた。あなたの富、あなたの市、あなたの商品、あなたの水夫、あなたの水先人、継ぎ目をふさぐ者たち、あなたの商品を取り扱う者たち、そしてあなたのうちにいるすべての戦士たち、あなたのただ中にいるあなたのすべての一同は、あなたの破滅の日に海のただ中に倒れる。あなたの水先人の叫びの音に、郊外は震えあがる。櫂を扱う者はみな、水夫や、海のすべての水先人は、自分の船から下りて陸に立ち、あなたに対して声を上げ、激しく嘆き悲しむ。頭に塵を投げかけ、灰の中で身を転がす。彼らはあなたのためにすっかり頭を剃り、荒布を身にまとい、心の苦さをもってあなたのために泣き、激しく嘆き悲しむ。そして嘆きのさなか、あなたのために哀歌をうたい、こう言ってあなたを悼む。「海のただ中で滅ぼされたツロのような都が、どこにあらうか。あなたの商品が海から出て行くと、あなたは多くの民を満ちし、あなたの豊かな富と商品によって地の王たちを富ませた。だが、水の深みで海に砕かれる時には、あなたの商品も、あなたのただ中にいるすべての一同も倒れる。」島々のすべての住民はあなたに驚き、その王たちはひどく恐れて顔色を変える。民のうちの商人たちはあなたに向かって嘲りの口笛を鳴らす。あなたは恐るべきものとなり、もはや再び存在しない。エゼキエル書 27:25-36。

ツロは、地の商人たちが激しく嘆き悲しみ、そして「ツロに並ぶ都がどこにあるか」と問う、その都、あるいは王国である。彼らがそうするのは、その都が海で打ち砕かれる「時」においてである。黙示録18章では、ツロの淫婦、すなわちローマの淫婦が、地の王たちと姦淫を行い、その裁きが一時間にして、また一日にして来るとされる大いなる都であると特定されている。彼女こそ、嘆き悲しむ王たちと商人たちにあの預言的な問いを発させる都である。

それゆえ、彼女の災いは一日のうちに来る。死と喪と飢饉が、彼女はすっかり火で焼き尽くされる。彼女をさばく主なる神は力強いからである。地の王たちのうち、彼女と

姦淫を行い、彼女と共に贅沢に暮らした者たちは、彼女が焼かれる煙を見て、彼女のために嘆き悲しみ、悼む。その責め苦を恐れて遠く離れて立ち、こう言う。「ああ、ああ、大いなる都バビロン、力ある都よ！

あなたへの裁きは一時間のうちに来たのだ。」 また、地の商人たちは彼女のことで泣き悲しむ。もはや誰も彼らの商品を買わないからである。すなわち、金、銀、宝石、真珠、上等の麻布、紫布、絹、緋色の布、あらゆる香木、象牙のあらゆる器、最も貴重な木材や青銅、鉄、大理石で作られたあらゆる器、また、肉桂、香料、香油、乳香、ぶどう酒、油、上等の小麦粉、小麦、家畜、羊、馬、戦車、そして奴隷と人の魂。あなたの魂が慕い求めた実りはあなたから去り、あなたの好んだぜいたくで美しいものはみな、あなたから去ってしまい、もはや決してそれらを見出すことはない。これらの品を扱い、彼女によって富を得た商人たちも、彼女の責め苦を恐れて遠く離れて立ち、泣き叫び、嘆き悲しんで、こう言う。「ああ、ああ、あの大いなる都、上等の麻布と紫と緋色に身をまとい、金や宝石や真珠で飾られていた都よ！

この莫大な富は一時間のうちに無に帰したのだ。」 さらに、すべての船長、船にいる者たち、船員、そして海で商う者たちもみな、遠く離れて立ち、彼女が焼かれる煙を見て叫んだ。「この大いなる都に比べられる都がどこにあらうか！」そして頭に塵をかぶり、泣き叫び、嘆きながらこう言った。「ああ、ああ、あの大いなる都よ。海に船を持つ者は皆、その豪華さのゆえに富を得たのだ！

わずか一時間のうちに彼女は荒れ果てたからだ。」 ヨハネの黙示録 18:8-19

イエス・キリストの黙示の封印が解かれることには、真夜中の叫びのメッセージが含まれる。そのメッセージは、エゼキエル書三十七章の第二の預言であり、三日半のあいだ通りに横たわっていた死んだ干からびた骨を、強大な軍勢として生き返らせる。そのメッセージはまた、主が日曜遵守の強制に対してアメリカ合衆国に執行の裁きを下すために用いられるのはイスラムであるという真理を含んでいる。その裁きは大地震の「時」に到来し、それはまた、ベルシャザルの壁に手が文字を書いた「時」でもある。その書きつけがもたらした恐怖は、イスラムの「東風」によって地球の経済構造が打ち倒され、南にある手入れの行き届かない「下の城壁」から彼らがひそかにベルシャザルの王国に忍び込んだとき、すべての王と商人をとらえるものとして表されている。

王たちや商人たちが嘆き、「この大いなる都に並ぶ都がどこにあらうか」と問う、その「都」あるいは王国とは、ツロの淫婦の王国であり、彼女はその時、自らの歌を歌い、まさにその王たちと姦淫を行っている。すべての預言者は世の終わりについて語っており、互いに一致しているので、エゼキエルの商人たちは黙示録十八章の商人たちと同じである。大いなる都と地上の金融体制が打ち倒されるとき、彼らは黙示録十八章で三度「alas, alas」と嘆く。その箇所では「alas」と訳されているギリシア語は、黙示録八章十三節で三度訳されているものと同じ語であり、そこでは別の英語の語で訳されている。

そして私は見た。また、天の中空を飛ぶ一人の天使が大声でこう言うのを聞いた。「災いだ、災いだ、災いだ。地に住む者たちに、これから吹き鳴らされる三人の天使のラッパの残りの響きのゆえに！」黙示録 8章13節。

王たちと商人たちは、「ああ、ああ」すなわち「災いだ、災いだ」と言って世界経済の破壊を嘆き悲しんでおり、この「災い」はイスラムを象徴している。壁に文字が現れたときベルシャザルとその貴族たちを襲った恐怖は、神が、バビロンのぶどう酒、すなわち

日曜遵守の強制を飲む者たちに裁きを執行するための摂理的な道具として用いるイスラムによる継続的な攻撃によって地球の経済構造が破壊されるときに生じる恐怖である。この真理は、イザヤ書23章の「ツロの淫婦」に対する「託宣」の主題である。

ツロについての託宣。タルシシュの船よ、泣き叫べ。家もなく、入る者もないほどに荒れ果てたからだ。このことはキッテムの地から彼らに知らされた。島の住民よ、静まれ。海を渡るシドンの商人たちがあなたがたを潤してきたのだ。大いなる水のほとりでは、シホルの種、すなわち川の収穫が彼女の収入であり、彼女は諸国の市場である。シドンよ、恥じよ。海、すなわち海のとりでが語って言う。「私は産みの苦しみをせず、子を産まず、若者を育てず、おとめを育て上げない。」エジプトに関する報せのときのように、ツロに関する報せにも彼らは激しく痛む。タルシシュへ渡れ。島の住民よ、泣き叫べ。これはあなたがたの歓喜の都なのか、その古さは太古にさかのぼる都なのに。彼女自身の足が彼女を遠くへ運び、寄留させる。冠の都ツロ、その商人は君たち、その仲買人は地の尊ばれる者たちであるが、そのツロに対して誰がこの計らいをしたのか。万軍の主がそれを定められた。すべての栄光の誇りを汚し、地のすべての尊ばれる者を卑しめるためである。タルシシュの娘よ、川のようにあなたの地を行き巡れ。もはや力はない。彼は海の上に手を伸ばし、もろもろの王国を震わせた。主は商いの都に対して命令を与え、その要塞を滅ぼすようにされた。彼は言われた。「虐げられた処女、シドンの娘よ、もう喜ぶな。立ち上がり、キッテムへ渡れ。そこでもあなたは安息を得ない。」見よ、カルデヤ人の地を。これは、アッシリア人が荒野に住む者のためにそれを建てるまでは存在しなかった民である。彼らはそのやぐらを立て、その宮殿を築き上げたが、彼はそれを荒廢に帰した。タルシシュの船よ、泣き叫べ。あなたがたの力は荒れ果てたからだ。その日には、ツロは一人の王の年月に従って七十年のあいだ忘れられる。七十年の終わりに、ツロは遊女のように歌う。忘れられた遊女よ、琴を取り、町を巡れ。美しい旋律を奏で、多くの歌を歌え。あなたが思い出されるために。七十年の終わりの後、主はツロを顧みられ、彼女はその稼ぎに戻り、地の表の全世界のもろもろの王国と姦淫を行う。彼女の商いとその賃金は主への聖なるものとなる。それは蓄えられもせず、積み立てられもしない。彼女の商いは、主のみ前に住む者たちのためにあり、十分に食べるため、また長持ちする衣服のためである。イザヤ書 23:1-18

七十年は、「ひとりの王の日々」として、バビロンの王国によって表されている。なぜなら、王は王国を意味し、文字どおりのバビロンは七十年間支配したからである。文字どおりのバビロンの七十年は、ベルシャザルの宴会の広間の壁に文字が現れたその「時」に終わった。まさにその夜、彼は気づかれぬまま「壁」を通過してやって来た力によって殺された。というのも、彼はバビロンのぶどう酒を飲みながら宴を催し、その間ネブカドネザルの楽団が音楽を奏で、ツロの淫婦が甘美な調べを歌い、背教のイスラエルが踊ってひれ伏していたからである。

そのとき、関わる者は皆、恐れにとらわれた。というのも、神が「ツロに対して計りごとを立て」、また「定め」て「すべての栄えの誇りを汚し、地のすべての尊ばれる者を卑しめる」ことにされたからである。ゆえに神は、その「時」の「大いなる地震」をもって「諸国を震わせ」た。というのも、神は「商人の王国に敵して命を下し」、「そのとりでを滅ぼす」とされたからである。ベルシャザルにとって恐れ「時」に、王たちと商人たちは、壁に記された燃えるような文字の意味を理解するために探し始めた。ベルシャザル

の死は今まさに起ころうとしているが、その時点では彼はまだ生きている。ゆえに彼は、その神秘的な言葉を理解しようとし、もしその文字を解き明かすことができるなら知者たちに褒美を与えると申し出た。だが、それは成し得なかった。バビロンの知者たちは、真理の偽物である聖書研究の方法論を用いていたからである。その神秘的な言葉は、封印された書の幻のようである。

そこで王の賢者たちが皆入って来たが、その文字を読むことも、その解き明かしを王に知らせることもできなかった。そこでベルシャザル王は非常にうろたえ、その顔色は変わり、貴族たちも驚いた。ところが王とその貴族たちの言葉を聞いた王妃が宴会の家に入って来て、こう言った。「王よ、いつまでも生きながらえられますように。思い煩ってはなりません。顔色を変えてはなりません。あなたの王国に、聖なる神々の霊が宿っている一人の人がいます。あなたの父の時代に、その人のうちに、神々の知恵のような光と悟りと知恵が見いだされました。あなたの父、王、そう、あなたの父ネブカドネザルは、その人を呪法師、占星術師、カルデヤ人、占い師たちの長としました。というのは、そのダニエルには優れた霊と知識と理解、夢の解き明かし、難解な語句の説明、疑問を解きほぐすことが見いだされたからです。王はその者をベルテシヤツアルと名づけました。今、ダニエルをお呼びなさい。そうすれば彼が解き明かしを示すでしょう。」そこでダニエルが王の前に連れて来られた。王はダニエルに言った。「おまえは、わたしの父王がユダの地から連れて来た、ユダの捕囚の子らの一人、あのダニエルか。おまえのうちに神々の霊があり、光と悟りと卓越した知恵があると、わたしは確かに聞いている。いま賢者たちや占星術師たちをわたしの前に連れて来て、この文字を読ませ、その解き明かしをわたしに知らせさせたが、彼らはそのことの解き明かしを示すことができなかった。だが、おまえについては、解き明かしをなし、疑問を解きほぐすことができる」と聞いている。今、この文字を読み、その解き明かしをわたしに知らせることができるなら、おまえに緋の衣を着せ、首に金の鎖をかけ、この国で第三の位に就かせよう。」ダニエル書 5:8-16。

宮中の王妃はベルシャザルの妻ではなく、彼の祖父の王妃であり、彼女は壁に書かれた文字を読める者が誰かを知っていた。王国の中には、教会（預言的には、女は教会である）があり、その教会は、神の奥義を理解できる者が誰かを知っていた。

宮廷には彼らすべてよりも賢いひとりの女がいた—ベルシャザルの祖父の王妃である。この非常時に、彼女は闇に一筋の光を差し込むような言葉で王に語りかけた。「王よ、いつまでも生き永らえられますように。どうか心を騒がせず、顔色を変えないでください。あなたの王国には、聖なる神々の霊が宿っている人がいます。あなたの父の時代に、光と悟りと知恵、すなわち神々の知恵に似たものが、彼に見いだされました。王ネブカドネザル、あなたの父、そう、王であるあなたの父は、彼を呪術師、占星術師、カルデヤ人、占い師たちの長に任じました。…今すぐダニエルを呼びなさい。彼がその解き明かしを示すでしょう。」

「そのとき、ダニエルは王の前に連れて来られた。」気を奮い立たせ、威厳を示そうとして、ベルシャザルは言った。「汝は、ユダの捕囚の子らの一人で、わが父王がユダヤから連れて来たあのダニエルか。汝には神々の霊があり、光と悟りと卓越した知恵が見いだされると、我も聞いておる……。今、もしその文字を読み、その解き明かしを我に知らせることができるなら、汝を緋の衣でまとわせ、首に金の鎖をかけ、こ

の国で第三の位に就けよう。」

ダニエルは王の威容に畏れを抱かず、その言葉にも惑わされず、ひるまなかつた。彼は答えた。「贈り物はご自身のもとにお置きなさい。報いはほかの者に与えなさい。ただし私は王のためにその文字を読み、その解き明かしを告げよう。ああ王よ、いと高き神はあなたの父ネブカドネツアルに王国と威厳と栄光と誉れをお与えになった……。しかし彼の心が高ぶり、思いが誇りにかたくなになったとき、彼はその王座から退けられ、栄光は彼から取り去られた……。そしてあなた、その子ベルシャザルよ、あなたはこれらすべてを知っていながら心を低くせず、かえって天の神に逆らって自らを高くした。神の家の器があなたの前に持って来られ、あなたとあなたの貴族たち、あなたの妻たちとそばめたちはそれらで酒を飲み、あなたは見ることも聞くことも知ることもない銀と金、青銅、鉄、木、石の神々をほめたたえた。しかし、あなたの息がその御手のうちにあり、あなたのすべての道がその御手にある神を、あなたは栄光を帰さなかつたのだ。」

「そこに書き記されていた文字はこうである。メネ、メネ、テケル、ウパルシン。事の解き明かしは次のとおりである。メネ——神はあなたの王国の日数を数え、これを終わらせた。テケル——あなたは天びんで量られ、足りないものとされた。ペレス——あなたの王国は分割され、メディア人とペルシア人に与えられた。」

ダニエルは自らの務めから逸れることはなかつた。彼は王の罪をその面前に突きつけ、本来学ぶべきでありながら学ばなかつた教訓を示した。ベルシャザルは、自分にとってきわめて重要な出来事を顧みなかつた。彼は祖父の歴史を正しく読み取らなかつた。真理を知るといふ責任は彼に課せられていたが、彼が学び、実行に移すことのできた実際的な教訓は心に刻まれず、そして彼の取った道は確実な結果をもたらした。

これはカルデヤの王が催した、驕り高ぶりの最後の酒宴であつた。人の頑迷さを長く忍耐しておられる方は、すでに撤回し得ない判決を下しておられたのである。ベルシャツアルは、自分を王位に高められたお方をひどく辱め、その猶予は取り去られた。王と貴族たちが酒宴のたけなわにあるとき、ペルシア人はユーフラテス川の流れを変え、無防備の都へと進軍した。ベルシャツアルとその貴族たちがエホバの聖なる器から酒を飲み、銀や金の神々をほめたたえている間に、キュロスとその兵士たちは宮殿の城壁の下に布陣していた。「その夜」と記録は言う。「カルデヤ人の王ベルシャツアルは殺され、メディア人ダリオスがその国を受け継いだ。」バイブル・エコー、1898年5月2日。

危機のただ中で、女王（教会）は、「Future for America」を特定できる情報源があることを突き止めた。ダニエルは、終わりの日にその目的を果たすため、再び自分の分に立つ。火の炉の中でシャデラク、メシャク、アベデネゴによって示された旗印の証しは、いまやダニエルによっても与えられており、彼は、日曜法危機の「時」に、旗印を代表する者たちが真理を証しするために国家当局の前に引き出されることになる、という真理の系譜に、さらに一つの証しを加えている。

「彼らはあなたがたを評議会に引き渡すであろう。…さらに、わたしのために、彼らと異邦人への証しとして、あなたがたは総督や王の前に引き出されるであろう。」マタイ10:17、18 (R. V.) 迫害は光を広める。キリストのしもべたちは、このことがな

ければ決して福音を聞くことのなかったであろう、この世の大いなる者たちの前に引き出される。真理は彼らに対して曲げられて伝えられてきた。彼らはキリストの弟子たちの信仰についての虚偽の告発に耳を傾けてきた。しばしば、彼らがその本来の性質を知る唯一の手段は、信仰のゆえに裁きに付される者たちの証言である。取り調べの場で、これらの者は答えることを求められ、裁く者たちはなされた証言に耳を傾ける。この急場に臨むために、神のしもべたちには神の恵みが与えられる。「その同じ時に、あなたがたが語るべきことが与えられる。語るのはあなたがたではなく、あなたがたのうちにあって語られるのは、あなたがたの父の御霊である」とイエスは言われる。神の御霊がそのしもべたちの心を照らすとき、真理は神的な力と尊さをもって示される。真理を拒む者たちは、弟子たちを訴え、虐げるために立ち上がる。しかし、損失と苦難のただ中で、死に至るまでさえ、主の子らは彼らの神聖な模範の柔和をあらわすべきである。こうして、サタンの手先とキリストの代表者との対照が明らかにされる。救い主は支配者たちと民の前に高く掲げられる。『The Desire of Ages』 354.

三人の勇士と同様に、ダニエルはいかなる褒美にも関心がなく、言うべきことをあらかじめ練習する必要もなかった。彼はごく簡潔に、壁に示されていた「七つの時」の解釈を述べた。

次の記事でベルシャツアルの物語を続けます。

神の働きに不忠実な者は原則に欠けている。彼らの動機は、いかなる状況にあっても正しいことを選ばせる性質のものではない。神のしもべは常に、自分が雇い主の目の下にあることを感じていなければならない。ベルシャツアルの冒瀆の宴を見張っておられたお方は、私たちのあらゆる施設に、商人の会計室に、個人の作業場におられる。そして、その血の気のない手は、冒瀆の王に対する恐るべき宣告を記したのと同じ確かさで、あなたの怠慢をも確実に記録している。ベルシャツアルへの断罪は火の文字でこう記された。「あなたは秤にかけられ、足りないと見いだされた」。もしあなたが神から与えられた義務を果たすことを怠るなら、あなたへの断罪も同じである。『若者たちへのメッセージ』 229.